

粕谷和夫の観察日記。トビは空で輪を描きながらゆったり舞っていることが多いですね。4月7日、日野市・多摩川の浅川合流付近で4月の野鳥定期カウントをしていたら、1羽のトビが河原に降りて菜の花の陰でゆったりしているように見えました。トビも「ボーっとしている」時が必要なのかな。

紅葉台



新聞

第180号

2025年
5月3日

発行人：関谷 孝

タマノホシザクラを 見に 南大沢へ

3月30日（日）寒の戻りが桜の開花と同じくソメイヨシノが一斉に咲きだしました。天気予報では曇りでしたがお日様が出て絶好の花見日和に。9時30分、南大沢の改札で「多摩自然観察会」の皆様とカワセミ会と一緒に観察会がありました。参加者はカワセミ会16名。向かった先は小山内裏公園。ここからは町田市になるとのこと。入り口の大きな橋から公園を見ると小高い山に様々な色の桜の木々が出迎えてくれました。もともと南大沢は自然豊かな地域で1983年「まちびらき」が始まり大規模な宅地開発が行われ現在のような街になりました。この頃のことをジブリのアニメ「平成狸合戦ぽんぽこ」で描かれています。

山林を歩くとそこかしこにスミレが咲いていました。途中の山桜の木でイカルが2羽桜の花を啄んでいました。嘴の大きな黄色が良く目立つ鳥です。ヒヨドリも同じように桜の蜜を吸いに来ました。また近くの木にはなんとアオゲラがいました。アオゲラは日本固有種。名前の通り緑色の羽根に赤い帽子。鳴き声にも特徴があります。

野鳥観察をしながらたどり着いたのは内裏池。この池の近くに「タマノホシザクラ」があります。粕谷会長さんが言うには「3年前は見事に大きな枝ぶりで花がたくさん咲いていたが今年は木が枯れて上の方が切られてしまい、桜の花が少なくなった」とのこと。



ちょうど運よく環境レンジャーの方が調査に来ていて話を聞くことが出来ました。「近くにはその根から出てくるヒコバエ苗を移植して育った木が6本ぐらいあり」「まだ若木なので花の数は少なく、保存のために何か所か移植している」との話でした。



植物に詳しい石黒さんや馬場さんはこの地域の自然環境を保護する運動もしているそうです。この地域の植物についてたくさん教えていただきました。

❀ タマノホシザクラ（多摩の星桜）の特徴はなんといっても**赤い星型のガク片**です。花びらを支えるガク片が5角形で星の形をしていてそれが名前の由来です。（写真左）



多摩丘陵に自生する非常に珍しい桜で、多摩丘陵で発見されて

2004年に新種認定。**マメザクラとエドヒガンの雑種。多摩丘陵（この付近）に180本くらいしか確認されていません。東京都と環境省による絶滅危惧種指定品種。1A**

類に指定されており、非常に貴重な桜です。**東京都町田市、八王子市、多摩市の一部にしか自生していません。早咲きでソメイヨシノよりも数日早く咲く桜**です。この桜は、自然保護の観点からも注目されており、地域のボランティアによる管理が行われています。自然の美しさ

と希少性を兼ね備えた桜ですね。
❀ **ヤブザクラ（藪桜） 関東西南部（特に多摩丘陵）に多く自生。マメザクラとエドヒガンの雑種。平開した花と萼の卵形の鋸歯が目印。**（写真右）



帰りは道案内の市村さんが毎日フィールドワークにしている公園で見つけたオオタカの巣や毎日同じ時間に出てくるくるルリビタキの場所等教えてくれました。ちょうど満開になった桜並木の道を南大沢駅まで歩きました。この地域は白とオレンジ色の統一された素敵な住宅が沢山並んでいてとても綺麗な街並みにも感心しました。いろいろな桜がありますが、ここでしか見ることが出来ないこの珍しいタマノホシザクラも見る価値がありそうです。



毎年3月下旬に咲くようですので、是非チェックしてお出かけしてみたいかながらう。

粕谷和夫の観察日記



イカルと言えば太くて黄色い大きな「くちばし」の鳥、大袈裟に表現すれば「顔の面積の3分の1くらい」の割合を「くちばし」が占めています。これはイカルが「固い木の実をくちばしで迴したり転がしたりして」食べるために進化したものと説明されています。このイカルがサクラの「はなびら」を食べていました。びっくりです。



4月4日に訪れた甲州市上条集落の**スモモ**です。スモモは、自身の花粉によっては受精しない自家不結実性（自家不和合性）の性質をもっています。このため結実には他品種の花粉を受粉する必要があり、人工授粉を行います。4日、スモモ農家の方々が人工授粉の前の段階の仕事に精を出していました。この写真の上の白い花

が実を着けるスモモ。下のうすいピンクの花が**ハリウッド**という花粉を取るための品種です。しゃれた名前のスモモですね。農家の方はハリウッドの花を千切り取っていました。千切った花から花粉だけを集め、その花粉を人工的に白い花に吹き付けるのだそうです。スモモの収穫までには手間がかかりますね。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」のHPに公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。